

としょかんをつかった

しらべるがくしゅうコンクール

しらべるがくしゅうの
すすめかた

しらべるがくしゅうのステップ

① しらべるほうほうをかんがえる

② しらべてきろくしよう

③ さくひんにまとめよう



ステップ① しらべるほうほうをかんがえる

としょかんでしらべるいがいにも、いろいろなしらべかたがあります。
じぶんがしりたいことをしらべるには、どんなほうほうがあるのか、
かんがえてみましょう。

インターネットでしらべる



かんさつする

じっけんを試みる



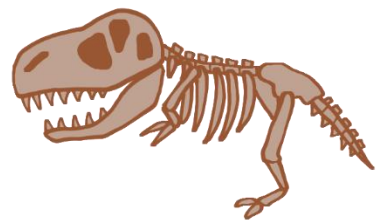
インタビューする

(ほかの^{ひと}人におねがいをして
はなしをきくこと)



はくぶつかんや

しりょうかんに行く



ステップ② しらべてきろくしよう

しらべてわかったことやどうやってしらべたのかをノートにかいたり、きろくカードをつくってみましょう。

さいごにじぶんがしらべたことをまとめるときに、とてもやくにたちます。

◎ノートやきろくカードにかいておくこと

- ・いつしらべたか（〇がつ〇にち）
- ・しらべたときにつかった本のタイトルやかいた人のなまえ
- ・わかったこと・きづいたこと
- ・しらべにいったばしょのなまえ

きろくカードの作りかた

しらべたいこと	
わかったこと	しらべた日：〇がつ〇にち
つかったしりょう（本）	本のなまえ： かいてあったページ：

◎こんなきろくのしかたもあります

- ・イラストをかいてきろくする ✎
- ・しゃしんをとっておく 📷

ステップ③ さくひんにまとめよう

【どんなほうほうでまとめる？】

○ノートやレポートようしをつかう

ひょうしやもくじをつけて、本の^{ほん}ようにまとめることができます。

○おおきなかみ（もぞうし・がようしなど）をつかう

！まいでしらべたことをたくさんかくことができます。

ポスターや「〇〇しんぶん」などをつくることができます。

⚠ B4 サイズまでかやつぎりサイズでさくひんを^{つく}ってください。

（^{おお}きさは^{ひと}おうちの^{ひと}人といっしょにかくにんしてください）

【かいていくじゅんばん】

さいしよ	① しらべようとおもったきっかけ ② しらべるまえにかんがえたこと（よそうしたこと） ③ しらべたほうほう
つぎ	④ しらべてわかったこと
おわり	⑤ よそうとちがうところがありましたか？ ⑥ しらべたあとのかんそう
かんせい	⑦ しらべるときにつかった ^{ほん} 本などをさいごのページにかく（「さんこうぶんけん」といいます） ⑧ ひょうしにかくタイトルをきめる ⑨ もくじを ^{つく} 作る（本の ^{ほん} ようにさくひんを ^{つく} 作る ^{ひと} 人だけです） ⑩ おうぼカードをさくひんにはる

【すてきなさくひんをつくるには】

- ・イラストやしゃしんをはる
- ・ちずやグラフをつくってみる

【さくひんをつくるときにちゅういすること】

- 本の中の文しょうをそのままかくときは「^{ほん なか ぶん}」(かぎかっこ)をつけましょう。
かいた人の文しょうをそのままうつして、じぶんがかんがえたようにかいてはいけません。
- 「^{ぶん}」(かぎかっこ)をつけた文しょうをかいたら、どの本からかいたのかがわかるように「本のなまえ」「ページ」などをかならずさいごにかきましょう。

保護者の方へ



※ 調べるときに使った本など(参考文献)の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/concours> の「参考・引用文献リストの書き方」を御覧ください。「参考・引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。

「しらべるがくしゅうのすすめかた(ていがくねん)」作成時に参考にした資料

- ・『調べるって、おもしろい!マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド』(岩崎書店)

公益財団法人図書館振興財団・監修、岩崎書店編集部・編著

※この資料は甲西図書館で所蔵しています(夏休み期間は館内閲覧のみ)